

# 一子相伝

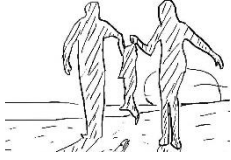


一子相伝。浄土真宗ではあまり使われることはないの

すが、師匠が弟子一人に仏法の奥義を伝えることです。誰彼と教えの要を説くのではなく、選ばれた者だけがそれを受け継いでいくのです。口伝を重んじる宗派によくあります。また、歌舞伎などの芸の道でも一子相伝はあります。

歌舞伎の世界では、それぞれにお家芸があり、七代目市川團十郎選出の歌舞伎十八番が特に有名です。最近では、三代目市川猿之助さん選出の猿之助四十八撰があります。

あれあれ？ここで浄土真宗と深くかかわる数字が出てきたではありませんか。十八番、四十八撰。浄土真宗のご本尊は阿弥陀如来。阿弥陀如来が、あなたをすくいたいと誓いをたてられますが、その誓いの数が四十八です。そして、その中の第十八番目の願いが、どのようなものもすくうという本願と言われるものです。本願寺の本願は阿弥陀如来の第十八番目の願いの事なのです。



一子相伝。浄土真宗の立場で言えば、阿弥陀如来は、親が子を思うように、私のことを思い、親はここにおるぞと、南無阿弥陀仏の声となり今ここに伝わっているのです。

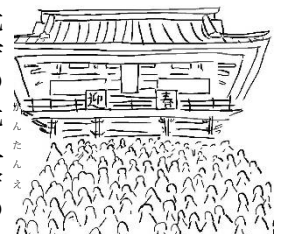
住宅ローン  
初まり小遣い  
下がないで  
願えば松は  
ホームローンは  
存在取

## こんなところに 仏教用語

身近な仏教用語を紹介しています。

# 一心

千葉県で初詣の場所と言えば成田山新勝寺ですが、今年の参



拝者数は三〇〇万人を超えたそうです。とんでもない数字ですね。ちなみに西光寺の元旦会の

参拝者数は二〇人程です。ちょうどいい数字ですね。さて、新勝寺と西光寺の元旦の違いは人数だけでしょうか。おそらくお参りの方の心模様も随分と違うものです。

初詣に行かれた方は何を願われたのでしょうか、健康、恋愛、受験、厄除け等々人それぞれでしょう。ここで問題なのは、すべての願いがかなうものではないという事、そして、願いがかなってもまた悩みは出てくるということ。生老病死は、免れることができない道理なのです。

それでも抗いたい、なんとかしてやりたいと思うのが人情であり、その矛盾を抱えるからこそ阿弥陀如来はすべてを含めておすくいになると誓われたのです。阿弥陀如来は、こちらが願うよりも先に願われており、祈るよりも先に祈られてる仏さまです。浄土真宗の元旦の

過ごし方は、阿弥陀如来から願われている身であると感謝することなのです。

一心とは、一心なくということ。他を抛り所としなくてもよいのです。

